

第37回土木学会地震工学研究発表会(2017年)(熊本)(暫定版)

10月11日(水)

	A会場 (会議室1)	B会場 (会議室2)	C会場 (会議室3)	D会場 (会議室4)
10:00-10:30	受付(A会場前)			
10:30-12:15	A11 構造 ＜動的応答・振動＞ 秋山充良(早稲田大学)	B11 地盤 ＜液状化1＞ 大矢陽介(港空研)	C11 地震動 ＜地殻変動・震源特性＞ 池田隆明(長岡技科大)	D11 防災 ＜道路防災＞ 酒井久和(法政大学)
12:15-13:30	ランチタイム			
13:30-15:15	A12 構造 ＜鋼構造＞ 葛西昭(熊本大学)	B12 地盤 ＜液状化2＞ 坂井公俊(鉄道総研)	C12 地震動 ＜強震記録とその分析＞ 能島暢呂(岐阜大学)	D12 防災 ＜ライフライン防災＞ 丸山喜久(千葉大学)
15:30-17:15 (A会場のみ17:30まで)	A13 構造 ＜耐震性能＞ 北原武嗣(関東学院大学)	B13 地盤 ＜補強・土圧・地盤変位1＞ 宇野州彦(五洋建設)	C13 地震動 ＜地盤震動1＞ 吉見雅行(産総研)	D13 防災 ＜地震後対応技術＞ 宮島昌克(金沢大学)

10月12日(木)

	A会場 (会議室1)	B会場 (会議室2)	C会場 (会議室3)	D会場 (会議室4)
09:30-10:45	A21 構造 ＜コンクリート構造＞ 篠原聖二(阪神高速)	B21 地盤 ＜地盤変位2＞ 阿部慶太(JR東日本)	C21 地震動 ＜地盤震動2＞ 野津厚(港空研)	D21 防災 ＜地盤防災＞ 森伸一郎(愛媛大学)
11:00-12:15	A22 構造 ＜ダンパー・制震＞ 五十嵐晃(京都大学)	B22 地盤 ＜地盤変位3＞ 上田恭平(京都大学)	C22地震動 ＜地盤震動3＞ 末富岩雄(エイト日本技術開発)	D22 防災 ＜避難・津波防災＞ 鈴木崇伸(東洋大学)
12:15-13:30	ランチタイム			
13:30-15:15 (A会場のみ15:30まで)	A23 構造 ＜ゴム支承・免震＞ 梶田幸秀(九州大学)	B23 ダム・地下構造物 ＜地中構造物の耐震＞ 鍛田泰子(神戸大学)	C23 英語セッション ＜International Session＞ 古川愛子(京都大学)	D23 津波 ＜避難・津波防災＞ 奥村与志弘(関西大学)
15:30-17:15	△	B24 ダム・地下構造物 ＜地中管路の耐震＞ 佐藤清(大林組)	C24 災害調査 ＜被害要因調査＞ 橋本隆雄(国士舘大学)	D24 津波 ＜津波防災＞ 原田賢治(静岡大学)

第37回地震工学研究発表会プログラム

A会場(会議室1)

10月11日(水)

10:30-12:15		A11 <動的応答・振動>	座長: 秋山充良 (早稲田大学)
講演番号	講演題目	講演者	
A11- 1188	矩形アクリル製水槽を用いたのバルジング振動に関する振動実験	河田彰(十川ゴム)	
A11- 1103	長周期地震動観測記録を用いた超高層建物の振動特性の時系列評価	竹平 匠吾(千葉大学)	
A11- 1140	東北地方太平洋沖地震の余震観測記録に基づく多点異入力作用を受けた鶴見つばさ橋の地震応答の再現	庄司学(筑波大学)	
A11- 1174	凹凸のある煉瓦で構成される組積造壁の破壊メカニズムと耐力向上効果の検証	古川愛子(京都大学)	
A11- 1059	熊本城石垣曲線と静的・動的安定性	福田光治(大成ジオテック)	
A11- 1180	曲線橋の回転方向地震応答の影響 に関する動的解析	新井大輔(埼玉大学)	
A11- 1205	ロッキング橋脚を有する橋梁の構造改良提案	安積恭子(阪神高速道路)	

13:30-15:15		A12 <鋼構造>	座長: 葛西昭 (熊本大学)
講演番号	講演題目	講演者	
A12- 1242	局部座屈を考慮した高強度鋼管杭のM-φ関係について	塩崎禎郎(JFEスチール)	
A12- 1134	炭素繊維シートが巻立てられた円形鋼製橋脚の漸増繰返し水平力による弾塑性挙動	岡崎直斗(首都大学東京)	
A12- 1248	大型試験体の荷重-変位履歴特性を再現可能な鋼上部構造の縮小試験モデルの開発	木下幸治(岐阜大学)	
A12- 1179	繰返し曲げを受ける鋼部材の延性き裂発生・進展・破壊現象に関する実験的研究	吉田聡一郎(名城大学)	
A12- 1222	高応力三軸度下における鋼材の延性破壊評価モデルの構築に関する研究	劉巖(名城大学)	
A12- 1145	パイプ変断面鋼製橋脚の耐震設計法の一提案に関する解析的研究	鈴木元哉(名城大学)	
A12- 1113	中央径間長3000mを有する 超長大径間吊橋の地震応答特性	岩下慎吾(首都大学東京)	

15:30-17:30		A13 <耐震性能>	座長: 北原武嗣 (関東学院大学)
講演番号	講演題目	講演者	
A13- 1224	楕円偏極指標を用いた2方向地震力に対する構造モデルの2方向応答特性の基礎的検討	井上和真(大成建設)	
A13- 1192	鉄道高架橋-隣接建物間の動的相互作用の基本特性に関する数値解析的検討	和田一範(鉄道総研)	
A13- 1227	隣接構造物との接続形式の違いによる断層上のラーメン高架橋の地震時挙動評価	日野篤志 (ジェイアール総研エンジ)	
A13- 1072	設計地震力の違いによる変位制限構造の損傷形態に関する基礎的検討	朝廣祐介(九州大学)	
A13- 1128	高架橋の危機耐性向上のための倒壊方向制御構造の振動台実験	豊岡亮洋(鉄道総研)	
A13- 1170	機能分散による設計超過地震を受ける免制震橋の危機耐性向上に関する地震リスク評価	秋池 佑香(埼玉大学)	
A13- 1173	危機耐性を指向した耐震設計の実装に向けた考察	本田利器(東京大学)	
A13- 1243	2016年熊本地震の強震動の繰返し作用による道路橋の耐震性に及ぼす影響の検討	石井洋輔(国総研)	

10月12日(木)

9:30-10:45		A21 <コンクリート構造>	座長: 篠原聖二 (阪神高速道路)
講演番号	講演題目		講演者
A21- 1102	無筋橋脚の打継目移動制限装置による地震対策工法の実験的研究		坂岡和寛(西日本旅客鉄道)
A21- 1231	鉄道無筋コンクリート橋脚の地震時破壊挙動の数値解析に関する研究		矢野翔大(京都大学)
A21- 1120	RCラーメン高架橋の常時微動による損傷検知に関する解析的検討		坂下克之(大成建設)
A21- 1089	軸方向鉄筋の座屈抵抗特性を変化させたRC柱のポストピーク挙動に関する検討		植村佳大(京都大学)
A21- 1122	鋼板とコンクリート間の接着剥離面積が衝撃弾性波法における検出波形に与える影響		康田雄太(立命館大学)

11:00-12:15		A22 <ダンパー・制震>	座長: 五十嵐晃 (京都大学)
講演番号	講演題目		講演者
A22- 1142	鋼管集成橋脚における縦補剛せん断パネルダンパーのボルト接合部を含む力学的挙動		禪野航平(神戸大学)
A22- 1147	せん断型座屈拘束ブレースの開発に関する実験的研究		近藤加奈(名城大学)
A22- 1066	Twin-BRRP制震ダンパーの性能実験と拘束材のPushover挙動		宇佐美勉(名城大学)
A22- 1150	TMDの適用による送電鉄塔の耐震性向上に関する基礎的研究		松本 将之(熊本大学)
A22- 1196	直接基礎の浮き上がりが粘性ダンパーを有する橋梁の地震応答に及ぼす影響		井上貴文(徳島大学)

13:30-15:30		A23 <ゴム支承・免震>	座長: 梶田幸秀 (九州大学)
講演番号	講演題目		講演者
A23- 1106	積層ゴム支承のAE技術を用いた損傷評価に関する研究		田中陽裕(立命館大学)
A23- 1195	積層ゴム支承におけるゴム層と内部鋼板の接着層の劣化メカニズム		篠原聖二(阪神高速道路)
A23- 1226	低温動的載荷実験による高減衰ゴム支承の力学的特性の検討		齊藤剛彦(北見工業大学)
A23- 1186	部材特性のばらつきを考慮したゴム支承の劣化に対するケーブルの設置対策効果の検討		栗野翔太(京都大学)
A23- 1178	免震構造による地中深く埋まる橋脚の断面力低減効果に関する一考察		土井達也(鉄道総研)
A23- 1204	2016年熊本地震の鉛直地震動が曲線橋のゴム支承部の引張反力に及ぼす影響		中島昌矢(九州大学)
A23- 1203	軸応力をパラメータとした積層ゴム支承のせん断特性確認実験の再現解析とゴム支承の局部応力変化に関する検討		成炫禹 (大日本コンサルタント)
A23- 1232	非線形動的応答解析に基づく大切畑大橋の2016年熊本地震における被害メカニズムの推定		益田諒大(山口大学)

第37回地震工学研究発表会プログラム

B会場(会議室2)

10月11日(水)

10:30-12:15		B11 <液状化1>	座長: 大矢陽介 (港空研)
講演番号	講演題目	講演者	
B11- 1062	表層不飽和領域への間隙水流入に着目した砂地盤の液状化に関する研究	高田祐希(京都大学)	
B11- 1068	共分散構造分析とサポートベクターマシンを用いた液状化発生日点の特徴の評価	柳瀬匡雄(千葉大学)	
B11- 1092	浮型格子状地盤改良工法による護岸背面荷さばきエリアの液状化対策	津國正一(竹中土木)	
B11- 1099	種々な地震波形を用いた繰返しねじりせん断試験による液状化強度特性の影響評価	石川敬祐(東京電機大学)	
B11- 1108	液状化判定と等価1自由度モデルを用いた液状化地盤の挙動評価法の開発	坂井公俊(鉄道総研)	
B11- 1124	岸壁を対象とした格子状地盤固化の液状化対策効果	山田岳峰(鹿島建設)	
B11- 1141	大間隔格子状改良および排水材併用工法による液状化対策効果の数値解析的検討	蔡飛(群馬大学)	

13:30-15:15		B12 <液状化2>	座長: 坂井公俊 (鉄道総研)
講演番号	講演題目	講演者	
B12- 1143	平成28年熊本地震における火山灰質砂の液状化強度評価	小合克弥(九州大学)	
B12- 1176	既設橋台の液状化地盤における耐震補強対策に関する模型振動実験	宇野州彦(五洋建設)	
B12- 1197	液状化対策としての空洞拡張による相対密度増加効果に関する基礎的研究	芹川由布子(金沢大学)	
B12- 1228	地震時地盤液状化による橋台の挙動に関する模型振動実験	安同祥(早稲田大学)	
B12- 1253	液状化による噴砂量推定のための振動台実験	飛田哲男(関西大学)	
B12- 1101	液状化地盤上に敷設される道路盛土の天端沈下量に対する数値解析に基づく評価	黒田修一 (エイト日本技術開発)	
B12- 1216	2016年熊本地震による甲佐町芝原団地の液状化被害分析	和田陽介 (千代田コンサルタント)	

15:30-17:15		B13 <補強・土圧・地盤変位1>	座長: 宇野州彦 (五洋建設)
講演番号	講演題目	講演者	
B13- 1201	控え直杭式矢板岸壁の簡易耐震性能照査法における控え杭のモデル化方法の改善	宮下健一郎 (パシフィックコンサルタンツ)	
B13- 1246	径厚比を考慮した鋼管部材のモデル化法による直杭式横棧橋の被災事例の再現解析	大矢陽介(港空研)	
B13- 1076	地震時における橋台背面アプローチ部の沈下対策に関する基礎的検討	斧田和樹(九州大学)	
B13- 1107	蛇籠を用いた道路擁壁の耐震性評価に関する実大規模振動台実験	中澤博志(防災科研)	
B13- 1189	橋台の地震時土圧発現機構に関する一考察	鈴木健一 (東日本旅客鉄道)	
B13- 1210	急角度の地山補強材を用いた既設もたれ壁の耐震補強に関する研究	池本宏文 (東日本旅客鉄道)	
B13- 1217	ジオグリッドを用いた補強土壁式係船岸の補強効果に関する解析的検討	池野勝哉(五洋建設)	

10月12日(木)

9:30-10:45		B21 <地盤変位2>	座長:阿部慶太 (東日本旅客鉄道)
講演番号	講演題目		講演者
B21- 1183	航空レーザ測量に基づく地盤変動と斜面崩壊による崩土を考慮した阿蘇大橋崩落の可能性に関する検討		千田知弘(福岡大学)
B21- 1123	熊本地震による阿蘇カルデラ内で発生した陥没周辺の地盤構造評価		大保直人 (地震予知総合研究振興会)
B21- 1252	地震時の崩壊性地すべりに対する有効応力解析法の適用性		柏木敬(関西大学)
B21- 1096	Newmark法とFEM解析の併用によるグラウンドアンカー補強斜面の地震時残留変位量評価法の提案		浅野翔也(鉄道総研)
B21- 1163	水平成層地盤の地震時挙動に及ぼす地盤飽和度の影響		上田恭平(京都大学)

11:00-12:15		B22 <地盤変位3>	座長:上田恭平 (京都大学)
講演番号	講演題目		講演者
B22- 1075	盛土の破壊形態に進行的破壊が与える影響に関する解析的検討		阿部慶太 (東日本旅客鉄道)
B22- 1100	沿岸部に敷設する道路盛土に発生する地震時変形量の特徴と簡易評価手法の提案		栗林健太郎 (エイト日本技術開発)
B22- 1234	2015年ネパール・ゴルカ地震による高速道路盛土部とその周辺部の亀裂及び段差の発生原因に関する考察		志賀正崇(横浜国立大学)
B22- 1144	地盤全体系の強度を考慮した地震時地盤変位量の簡易推定法		石橋利倫(鉄道総研)
B22- 1077	共分散構造分析と機械学習に基づく地すべり地形の特徴の評価		古川昭太(千葉大学)

13:30-15:15		B23 <地中構造物の耐震>	座長:鎌田泰子 (神戸大学)
講演番号	講演題目		講演者
B23- 1069	地下構造物に適用する新たな免震構造(SaS免震)の提案と検証		宍倉佳浩(山梨大学)
B23- 1115	免震・免波構造の有効性の評価に関する三次元解析について		有賀義明(弘前大学)
B23- 1126	地中構造物に作用する地震後の残留土圧について		五十嵐徹(ニュージェック)
B23- 1157	材料非線形解析を用いた開口を有する円形立坑のせん断耐力の評価方法に関する一考察		久末賢一(大林組)
B23- 1159	岩盤および密な砂地盤中に構築された壁基礎の地震時挙動に関する遠心模型実験		和仁雅明(中部電力)
B23- 1175	断層変位を受けるボックスカルバートの損傷メカニズムに関する研究		佐々木智大(大林組)
B23- 1208	既存サイホンの耐震性能照査のための優先順位決定指標の提案		平山智章(鹿島建設)

15:30-17:15		B24 <地中管路の耐震>	座長:佐藤清 (大林組)
講演番号	講演題目		講演者
B24- 1130	2016年熊本地震の震源地におけるマンホール変動量の推定と管路被害の分析		久保寺貴彦(東洋大学)
B24- 1097	2016年熊本地震の激震地における相対変位と埋設管被害の分析		鈴木崇伸(東洋大学)
B24- 1118	給水用高密度ポリエチレン管の耐震性評価に関する研究		西川源太郎 (積水化学工業)
B24- 1136	速度依存性を考慮した管引抜き実験による管軸方向地盤ばねのモデル化		鎌田泰子(神戸大学)
B24- 1190	熊本地震における水道施設の被害分析(その1)～水源地の被害と地震応答解析による検証～		田中慎太郎(日水コン)
B24- 1191	熊本地震における水道施設の被害分析(その2)～杭・井戸の被害検証と現耐震設計法の課題～		宮本勝利(日水コン)
B24- 1198	水道用管路更生工法の耐震性能検証		石関宏真(芦森工業)

第37回地震工学研究発表会プログラム

C会場(会議室3)

10月11日(水)

10:30-12:15		C11 <地殻変動・震源特性>	座長:池田隆明 (長岡技科大)
講演番号	講演題目	講演者	
C11- 1063	松田式を考慮したFEMによる断層変位評価とその上町断層系への適用	竿本英貴(産総研)	
C11- 1168	2016年熊本地震の地殻変動とサイスミシティ	神山真(東北工業大学)	
C11- 1229	近地項・中間項を考慮した修正経験的グリーン関数法に関する基礎的検討	長坂陽介(港空研)	
C11- 1110	破壊伝播の違いによる横ずれ断層近傍の強震動	香川敬生(鳥取大学)	
C11- 1117	2016年鳥取県中部の地震の臨時余震観測点とその記録を用いた強震動評価	吉田昌平(鳥取大学)	
C11- 1184	経験的グリーン関数法を用いた2016年鳥取県中部の地震の震源のモデル化	池田隆明 (長岡技科大学)	
C11- 1213	震源のモデル化の違いによるプレート内地震の予測地震動の比較	福島康宏 (エイト日本技術開発)	

13:30-15:15		C12 <強震記録とその分析>	座長:能島暢呂 (岐阜大学)
講演番号	講演題目	講演者	
C12- 1127	水晶振動子による加速度センサーの感度特性に関する検討	盛川仁(東京工業大学)	
C12- 1071	三角パルス波形モデルを用いた強震動特性の評価	山本 大喜(岐阜大学)	
C12- 1161	カーネル密度推定と混合正規分布モデルによる地震動波形の包絡線近似と地震動特性の考察	久世益充(岐阜大学)	
C12- 1166	KL展開による応答スペクトルのモード分解と合成	能島暢呂(岐阜大学)	
C12- 1090	高周波数帯域におけるスペクトル低減特性 ～パラメータ κ を用いた検討～	鶴来雅人 (地域地盤環境研究所)	
C12- 1104	地震動加速度が有する不連続性の本質	佐藤忠信(東南大学)	

15:30-17:15		C13 <地盤震動1>	座長:吉見雅行 (産業技術総合研究所)
講演番号	講演題目	講演者	
C13- 1085	山梨県西湖周辺における地盤震動特性の評価	植田裕也(大阪大学)	
C13- 1087	疑似点震源モデルに基づく1995年新潟県北部の地震による阿賀野市高田集落での強震動の推定	湊文博(大阪大学)	
C13- 1219	常時微動H/Vスペクトルを用いた サイト増幅特性の統計的な推定法	福永 勇介(国総研)	
C13- 1240	常時微動観測による地盤の揺れやすさリスク評価法に関する研究	中村友紀恵(高知大学)	
C13- 1109	関東地方の深部地盤構造が工学的基盤上の地震動に及ぼす影響	栗田哲史(東電設計)	
C13- 1209	高分解能モデルを利用した不整形地盤の局所的な地盤増幅の確率論的推定	飯山かほり(東京大学)	
C13- 1245	2016年鳥取県中部地震時に観測された別府湾周辺における長周期地震動	吉見雅行(産総研)	

10月12日(木)

9:30-10:45		C21 <地盤震動2>	座長:野津厚 (港空研)
講演番号	講演題目		講演者
C21- 1131	3次元FEMに基づく山地形の地盤増幅率の推定		藤並雄誠(法政大学)
C21- 1091	動的解析による2016年熊本地震における益城町の地震動評価		長尾毅(神戸大学)
C21- 1116	平成28年熊本地震における御船IC大速度記録の原因分析		豊増明希(京都大学)
C21- 1114	2016年鳥取県中部の地震における非線形地盤応答		野口竜也(鳥取大学)
C21- 1182	時間領域における基盤入射波推定法の再考		野津厚(港空研)

11:00-12:15		C22 <地盤震動3>	座長:末富岩雄 (エイト日本技術開発)
講演番号	講演題目		講演者
C22- 1086	常時微動計測に基づく南海トラフ巨大地震における変電所での強震動の基礎的評価		片山潤一(大阪大学)
C22- 1088	常時微動計測に基づく2003年十勝沖地震における苫小牧市街地での地震動の高密度推定		大川雄太郎(大阪大学)
C22- 1121	近年の被害地震における表層地盤のAVS30と震度分布評価に関する一検討		末富岩雄 (エイト日本技術開発)
C22- 1181	短期間の臨時地震観測に基づくサイト増幅特性の広域・高密度評価に関する新しい試み—高知県南国市の沿岸域を例として—		秦吉弥(大阪大学)
C22- 1084	1741年渡島大島の地震の震源域における経験的サイト増幅・位相特性の評価		中嶋唯貴(北海道大学)

13:30-15:15		C23 <International Session>	座長:古川愛子 (京都大学)
講演番号	講演題目		講演者
C23- 1153	DYNAMIC PROPERTIES AND LIQUEFACTION POTENTIAL OF GRAVEL-TIRE CHIPS MIXTURE (GTCM)		Siavash Manafi Khajeh Pasha(九州大学)
C23- 1162	MITIGATION OF LIQUEFACTION-INDUCED DIFFERENTIAL SETTLEMENT WITH DIFFERENT RELATIVE DENSITIES BY USING GRAVEL AND GEOSYNTHETICS-VALIDATION BY MODEL EXPERIMENT		HENDRA SETIAWAN (金沢大学)
C23- 1164	EFFECTS OF SOIL SPATIAL VARIABILITY ON LIQUEFACTION BEHAVIOR OF HORIZONTALLY LAYERED GROUND		Vargas Tapia Ruben Rodrigo (京都大学)
C23- 1202	ANALYSIS OF BRIDGE UNDER CONSTRUCTION COLLAPSED BY 2012 THABEIKKYIN EARTHQUAKE IN MYANMAR		Mya San Wai (京都大学)
C23- 1215	THE HIGH SEISMIC PERFORMANCE CONCEPT OF INTEGRATED BRIDGE PIER WITH TRIPLE RC COLUMN ACCOMPANIED BY FRICTION DAMPER PLUS GAP		Angga Fajar Setiawan (京都大学)
C23- 1225	ANALYSIS OF LANDSLIDES EFFECTS TRIGGERED BY GORKHA EARTHQUAKE ALONG TRISHULI RIVER		Alessandra Mayumi Nakata (横浜国立大学)

15:30-17:15		C24 <被害要因調査>	座長:橋本隆雄 (国土館大学)
講演番号	講演題目		講演者
C24- 1112	航空写真目視判読にもとづく2016年熊本地震による建物被害調査		内藤昌平(防災科研)
C24- 1082	2016年茨城県北部の地震で被災した新小山橋とその周辺での現地調査		矢部正明(長大)
C24- 1169	2016年熊本地震による大切畑大橋の現地測定に基づく被害メカニズムの推定		花房海斗(京都大学)
C24- 1078	2016年熊本地震による横変位拘束構造の損傷メカニズム推定		高橋良和(京都大学)
C24- 1149	2016年熊本地震における熊本城内の石垣被害および崩壊挙動解析		池本 敏和(金沢大学)
C24- 1171	2015年ネパール・ゴルカ地震における蛇籠被害の実態調査と耐震性向上に向けた具体策の検討		田所佑理佳(高知大学)

第37回地震工学研究発表会プログラム

D会場(会議室4)

10月11日(水)

10:30-12:15		D11 <道路防災>	座長: 酒井久和 (法政大学)
講演番号	講演題目	講演者	
D11- 1220	平成28年(2016年)熊本地震による道路橋被害の統計分析	猿渡基樹(国総研)	
D11- 1074	2016年熊本地震における高速道路網の機能的被害・復旧の時空間的分析	加藤宏紀(岐阜大学)	
D11- 1199	広域道路ネットワークにおける地震応答シミュレーションの実現可能性に関する検討	松下麗菜(阪神高速)	
D11- 1241	震災時の道路混雑を考慮した避難危険度指標の開発 ～壁面の落下物を考慮して～	清水真幸(東京電機大学)	
D11- 1212	OpenStreetMapを利用した中山間地の地震時孤立可能性の定量化	小野祐輔(鳥取大学)	
D11- 1244	道路ネットワークの津波災害時における機能支障の定量的評価	伊藤詩織(筑波大学)	
D11- 1093	地震時の高速道路復旧時間予測手法の高精度化に向けた検討	五十嵐 翼(千葉大学)	

13:30-15:15		D12 <ライフライン防災>	座長: 丸山喜久 (千葉大学)
講演番号	講演題目	講演者	
D12- 1111	三次元地盤震動解析による上水道パイプライン地震被害スクリーニング手法の基礎検討	藤田航平(東京大学)	
D12- 1152	地震時における水道空気弁に及ぼす被害影響に関する一考察	乾 太一郎(金沢大学)	
D12- 1095	貯水槽の耐震化向上のための8の字型浮体式制振装置の開発	小野泰介(中央大学)	
D12- 1165	住民意識を考慮したソフト・ハード両面からの上下水道減災対策の最適化手法の提案	池本良子(金沢大学)	
D12- 1236	橋梁の維持管理方針の決定要因に関する基礎的分析～管理橋梁の削減に向けて～	南貴大(金沢大学)	
D12- 1139	種々地震における地下埋設管の被害分析	張秋松(NTTアクセスサービスシステム研究所)	

15:30-17:15		D13 <地震後対応技術>	座長: 宮島昌克 (金沢大学)
講演番号	講演題目	講演者	
D13- 1239	大規模地震災害時における地域の共助ポテンシャルの基礎的分析—石川県羽咋市のKDBデータを活用して—	森崎裕磨(金沢大学)	
D13- 1223	平成28年熊本地震の災害対応における早期災害情報把握技術の評価および分析	白石萌美(国総研)	
D13- 1064	スマートフォンの位置情報を利用した流動人口の時空間分布の推定	一ノ瀬良奈(千葉大学)	
D13- 1155	大規模地震災害時の幼稚園・保育園の防災対策に関する基礎的分析	村一翔(金沢大学)	
D13- 1230	家庭・小売店に存在する食料の災害時の食料供給源としての可能性の検討	吉田裕実子(金沢大学)	
D13- 1158	わが国の全地震活動モデルを用いた震度曝露人口による地震リスク評価	加古涼介(岐阜大学)	
D13- 1233	地震動による建物屋上および壁面からの落下物の飛散特性に関する一考察	松岡佑樹(金沢大学)	

10月12日(木)

9:30-10:45		D21 <地盤防災>	座長: 森伸一郎 (愛媛大学)
講演番号	講演題目		講演者
D21- 1214	2016年熊本地震における益城町の宅地・建物被害分析		橋本隆雄(国土舘大学)
D21- 1221	2016年熊本地震による被災宅地の被害分析		松下一樹 (国土交通省都市局)
D21- 1218	防災カルテを用いた長野県北部地域における斜面の信頼性評価手法		近野玲央(法政大学)
D21- 1081	常時微動計測および臨時地震観測に基づく1923年大正関東地震による大規模地すべり地での強震動の推定		王功輝(京都大学)
D21- 1132	SPH-DEM法に基づく石積み擁壁の模型実験に対する数値シミュレーション		伊吹竜一(法政大学)

11:00-12:15		D22 <避難・津波防災>	座長: 鈴木崇伸 (東洋大学)
講演番号	講演題目		講演者
D22- 1250	2010年チリ地震津波に対する四国における沿岸住民の避難行動の実態		森伸一郎(愛媛大学)
D22- 1070	2016年熊本地震における避難者の発生・解消過程に関する基礎的考察		繁田健嗣(岐阜大学)
D22- 1080	新潟県粟島における津波避難困難区域の抽出		山内政輝(大阪大学)
D22- 1083	琵琶湖・沖島における津波避難困難時間の評価を目的とした強震動予測		山田桂吾(大阪大学)
D22- 1238	大規模地震災害における訪日外国人観光客の滞在分布に関する基礎的分析 ～首都直下地震を対象として～		酒井貴史(金沢大学)

13:30-15:15		D23 <避難・津波防災>	座長: 奥村与志弘 (関西大学)
講演番号	講演題目		講演者
D23- 1200	無人航空機を用いた津波避難開始行動調査手法の提案		土肥裕史(防災科研)
D23- 1237	避難訓練時の新たな避難行動観測手法の開発とその活用に関する研究		大澤脩司(金沢大学)
D23- 1156	夜間の津波避難誘導を可能とする蓄光標識の設置事例に関する調査・研究 —高知県黒潮町を事例として—		大野春雄 (建設教育研究推進機構)
D23- 1098	地震後の道路交通状況を考慮した津波避難実験		小山天城(千葉大学)
D23- 1060	1983年日本海中部地震の波源断層モデルの検証		大角恒雄(防災科研)
D23- 1061	津波模型実験の再現に向けた粒子法の利用に関する基礎検討		菊地俊紀(千葉大学)
D23- 1185	2次元差分法による津波遡上解析における建築物・堤防高のモデル化精度の影響		仲矢直樹(九州大学)

15:30-17:15		D24 <津波防災>	座長: 原田賢治 (静岡大学)
講演番号	講演題目		講演者
D24- 1249	海岸樹木の津波に対する耐力限界に関する実物試験		峯田純平(静岡大学)
D24- 1211	杭基礎建物の被災状況を踏まえた2011年東北地震津波による女川町の地盤応答特性の推定		佐藤祐子(鉄道総研)
D24- 1247	有効応力解析を用いた2011年東北地震津波による女川町の地盤応答特性の推定		家根拓矢(JFEエンジ)
D24- 1125	地上・地下統合浸水解析モデルを用いた輪島市下水道施設の津波による想定外被害の推定		安田誠宏(関西大学)
D24- 1235	下水道施設における地震・津波対策の合理的な対策の基礎検討		原田賢治(静岡大学)